

健常脳のデータベース構築

—「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年02月24日～2022年2月23日までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターで「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」の研究に参加された方
追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないよう

にした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 高橋 英彦
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男

2020年 9月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明

- ①ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究
- ②統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解
- ③運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明

上記3課題にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い

このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

本研究では、局所性ジストニアを対象疾患とし、行動実験、EEG、TMS、MRI、安静時/タスク fMRI など、マルチモーダルな脳・行動計測を行うことにより、局所性ジストニアの病態に関連する神経基盤を多角的側面から明らかにすることを目的とする。局所性ジストニアは病態に関連する責任病巣は依然として不明であり、本研究を通して得られる知見は、将来的に新たな治療法やリハビリテーションの確立にも寄与するものであり、臨床的な意義も大きい。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

- ① ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究
2017年3月31日まで
- ② 統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解
2019年3月22日まで
- ③ 運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明

2019年2月25日まで
上記期間に国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターで①～③の研究に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいた MRI データ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2017年02月24日から2022年2月23日まで

【共同研究機関】

上智大学 理工学部・准教授 音楽医科学センター・センター長 古屋晋一

2020年10月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）